

工業外国語 (Technical English)		5 年・前期・2 学修単位（α）・必修 電気工学科・担当 平井 誠	
〔準学士課程(本科 1-5 年) 学習教育目標〕 (2)	〔システム創成工学教育プログラム 学習・教育目標〕 D-1 (70 %), C-2 (30 %)	〔JABEE 基準〕  (d-2a), (f)	
<b>〔教育方法等〕</b> <b>概要：</b> 工業英語は、卒業研究で多読することとなる科学技術論文や、実験装置の取扱いで読むことになる機器マニュアルで用いられているものであり、文章に対する正しい知識および理解が求められる。そこで、本講義では実社会で使用されている技術系英文を例に基本となる構文の復習を行った後、演習を積み重ねることで長文読解能力や英作文能力の向上に繋げる。  <b>授業の進め方と授業内容・方法：</b> 講義では、工業英語の特徴に基づいた用法および構文について具体例を挙げながら解説を行う。また、講義で解説した基本文型に関する知識を基に様々な長文（電気理論、科学技術論文、新聞記事）の読解に挑み、演習を通して英作文能力の向上にも繋げる。  <b>注意点：</b> <b>関連科目</b> 英語および専門基礎科目 <b>学習指針</b> 語彙力の向上を心がけ、講義の復習を十分に行うこと。辞書を使う時には、単語の意味だけに着目するのではなく、それらを用いた例文についてもしっかりと確認すること。そして、可能であればそれらを纏めた自分の英文活用ノートを作してほしい。 <b>自己学習</b> 到達目標を達成するために、授業以外でも例題や練習問題に取り組み理解を深めることが必要である。また、関連する図書、論文、新聞記事も参考にして自学自習を進めること。			
<b>〔教科書〕</b> プリントを配布して講義を行う。 <b>〔補助教材・参考書〕</b> 「英語で書く科学・技術論文」東京化学同人 谷口滋次・田中敏宏・飯田考道・J. D. Cox (1995) 「はじめての技術英語」ベレ出版 宮野 晃(2003)			
<b>〔到達目標〕</b> 1. 技術英語の基礎となる英文法を理解すると共に、それらを効果的に使い簡潔な英文が書ける。 2. 技術英文を読んだり書いたりするためには、自身の知識を整理し、新しい表現を覚えることが重要であることについて説明できる。 3. 質の高い英文とは、内容を効率良く伝えることができる文章であることを説明できる。 4. 技術者・研究者自身が高い水準の英文ライティング能力を身に付ける必要があることについて説明できる。			
<b>〔評価割合〕</b> 定期試験の結果を 75 %，レポート点および小テストの結果を 20 %，授業態度点（ノート作成点）を 5 %として評価する。			

## 授業計画

	週	授業内容・方法	到達目標	自己評価*
前期	1 週	工業英語について	講義の目標，進め方を理解し，一般に使われる英語と工業英語の違いについて説明できる。	
	2 週	基本文型について(1)	よいスタイルの文章を書くには，論理の展開を明快にし，文型に注意を払う必要があることについて説明できる。	
	3 週	基本文型について(2)	基本文型に注意を払い，卒業研究で取り組む技術的な内容を短くても正確に英文にできる。	
	4 週	Eメールの書き方	技術系の英文 E メールを書く時に守るべきマナーについて説明でき，できるだけ簡潔に用件を書くことができる。	
	5 週	実務翻訳について	実務文は一定のビジネス上の目的を持ち，特定の読み手を対象に作られていることを理解し，英・和文に翻訳できる。	
	6 週	不定詞について	名詞，形容詞，副詞的用法を用い，技術的な内容の英文が効果的に書ける。	
	7 週	動名詞について	動名詞の文中での働きについて説明できる。	
	8 週	前期中間試験	授業内容を理解し，試験問題に対して正しく解答することができる。	
	9 週	試験返却・解答	試験問題を見直し，理解が不十分な点を解消する。	
	10 週	分詞構文について	分詞が接続詞と動詞を兼ね合わせた働きであることを理解でき，これにより文が簡潔になることを説明できる。	
	11 週	関係代名詞について	関係代名詞を用いることによって，英語の表現が飛躍的に拡大することを説明できる。	
	12 週	論文の基本構造	論文段落の基本構造および役割について説明できる。	
	13 週	実験方法の書き方	実験装置や手順に関する英文の書き方について演習を行うことで，冗長な表現を避ける必要性について説明できる。	
	14 週	執筆作業について	演習を通して，実際の執筆作業は四つの段階からなることを説明できる。	
	15 週	長文の和訳と英訳	長文英・和訳の演習を通して，表現力を向上させるために，新しい表現を学ぶことが重要であることを説明できる。	
	16 週	学年末試験	授業内容を理解し，試験問題に対して正しく解答することができる。	

\* 4：完全に達成した， 3：ほぼ達成した， 2：やや達成できた， 1：ほとんど達成できなかった， 0：まったく達成できなかった。